

WRC第9戦 ラリーニュージーランド

勅使川原光選手

CMSC
千葉

日本人クルー1位に。

'97WRC第9戦ラリーニュージーランドが、8月2～5日、ニュージーランド北島を舞台に開催されました。ニュージーランド最大の人口を持つオークランド市に隣接するマヌカウ市をスタート/ゴールにした同ラリーに、CMSC千葉の勅使川原選手が参戦しました。南半球にあるニュージーランドの8月上旬は真冬。降雪の可能性こそ少ないものの、気温は5度前後と寒く、早朝は霜のために道路が滑りやすくなることも多い場所です。ニュージーランドならではの牧草地帯を縫って走るラリールートはオールグラベルで道幅も広く、寒さでエンジンへの負担が軽いことも

あって、スプリントラリーという性格を持っています。

今回、ランサーエボリューションⅣにより、4度目の参加でクラス3位以内を狙った勅使川原選手。しかし、クラッチトラブル、コースオフ等でタイムロス余儀なくされ、総合17位(グループN6位)での完走となりました。「成績は決して満足できるものではありませんが、お陰様で日本人クルー1位という結果で終了する事



真冬のニュージーランドで熱い走りを見せた勅使川原選手。

が出来ました」と勅使川原選手。来年もぜひチャレンジして、すばらしい走りを見せていただきたいと思います。

CMSC栃木

筑波ナイター9時間耐久レース参戦記

8月6日の練習走行にて、オーバーランさせてしまいエンジンを破損、急遽エンジンオーバーホールをしなければならぬ状況に。8月9日、当日まで満足のいく練習や調整も出来ず、最悪の事態となってしまいました。何とか予選には間に合いましたが燃料系のトラブルが発生。思うようにタイムが出ず、参加22台中18位の結果となりました。

10日、トラブル箇所を応急処置し決勝へと臨み、長

トラブル克服で長丁場を完走。

丁場のレースがスタートしました。ドライバーは内堀篤史、添田正、吉沼昭彦、川口法行。特別なトラブルも無く5時間経過。エンジンオイルを500cc補給し、順位も13位ぐらいの所に付け、他チームの動向を伺いながら作戦を変える余裕も出てきました。7時間が過ぎ、再度エンジンオイル補給。残り2時間はドライバーチェンジ以外のピットインをせず、ゴール目指しラストスパート。参加22台中20台が完走。我々は総合10位、クラス6位の結果でした。9時間という長丁場のレースで結果



を残すことが出来、良い勉強になりました。

(CMSC栃木 川口法行)

CMSC栃木

SUGOスーパーN1 500km耐久レース参戦記

8月22日より練習に入り、サスペンションの調整に重点を置き、1分39秒を切るタイムを目標としましたが、なかなかよいセッティングが出来ず、1分41秒を出す事が精一杯の状況でした。他チームの同車種と比較してもエンジンパワーよりもコーナリング性能の差がタイムに影響していることが明白であった為、スプリング、車高、アライメント等の調整を試みました。

8月23日の予選では何とか1分40秒を出すことが出来ました。3人のドライバー(内堀篤史、添田正、川口法行)とも予選の時間をサスペンションのセッティングに費やし、結果、総合33位予選通過となりました。筑波9時間

皆の努力でクラス5位入賞

耐久レースの時のままエンジンも同じだったので、予選終了後エンジンを乗せ替えし、決勝の為に、少しでもマシンをベストの状態に出来る様、チーム員一同努力を続けました。

24日、決勝スタート。順位も少しずつ上がり、第2ドライバー交代時には25位。他チームのリタイヤも増え、第3ドライバー交代時には総合20位、クラス4位にまで上がりました。しかし100周目にミッショントラブル発生。ピットクルーの努力により何とか走行可能になった為、完走を目標に、チェッカーを受けるため、ピットを再スタートしました。結果、総合27位、クラス5位入賞。トラブル発生まではトップとの周回差も5周程しか無く、もう少し上位を狙えたかもしれないと思うと悔いの残るレースでしたが、チーム員

一同、また次回のレースに向け、頑張りたいと思います。

(CMSC栃木 川口法行)



CMSC群馬 岩田恒廣 バイクスピークヒルクライム参戦記

アメリカ独立記念日の7月4日に行われたバイクスピーク75回大会に、今回2回目のチャレンジをして来ました。車はランサーエボリューションⅣ。参加クラスはバイクスピークオープン。コースはバイクス山の4,300mヒルクライムコースです。

練習走行3日間では、5,000rpm以上回転数が上がらないという燃料系統のマシントラブルを発見。思いつくところを毎日、毎日直し続けました。そして本番当日。心は全開で走りましたが車の調子が直らず、結局、同じトラブルに。帰って来ての一言は「馬が逃げちゃったよ」。悔しさの残る走り、結果は8位でした。

他にもバイクスピーク主催のイベントがあり、ブラックタイパーティーには私と息子はスーツに蝶ネクタイ、妻と娘

悔しい思いを来年への励みに。

は着物姿で出席しました。着物は多くの方に珍しがられて、英語で質問されて四苦八苦。その会場にはすごいナイスボディの女性もいて、びっくりでした。レース以外にも現地の方々とふれあったり、ゴルフをしたりと、楽しんで来ることが出来ました。

今後も仕事を頑張りと、多くの車を売り、また来年もバイクスピークに出場し、この悔しい思いをバネに、思いっきり走れたらと思っています。



岩田家、全員集合。

CMSC青森 7月26~27日

'97ツール・ド・東北

'97ツール・ド・東北をJAFラリー選手権B・C地区第5戦として開催しました。ネプタ祭りの直前という事で、地元の有志が一足早くネプタを完成させ、スタート時にはネプタ囃子で競技車を送り、ラリーに華を添えてくれました。

さて、ラリーは午後4時31分Aクラスからスタートし、まだ日の暮れない明るい時間に第1SSのターマックヒルクライム(約8km)にアタック。サービスクルーや関係する多くの仲間の応援を受け、水温計が限界に達するほどアクセルを踏み、各クルーが文字通り熱い走りを見せ、第2ステージへと進みました。第2ステージ、Bクラスで参加のCMSC群馬・船津選手は昨年ほぼ優勝を手中にしながら、最後の最後で無念のリタイヤに終わりました。その無

CMSCの仲間が健闘。

念を晴らすかのように、今年はCJ4Aミラージュでの激走に次ぎ激走で見事優勝しました。(地区戦、初優勝とのこと。本当におめでとうございます。)

Cクラスでは同じくCMSC群馬から参加の細村選手が、第1ステージ、ダントツの1位で、このままCクラス優勝かと思われましたが、後半マシントラブルの為、大きく後退し、残念ながら7位となりました。来年こそは……と期待しています。CMSC千葉の丹羽選手は関東勢最上位の4位と健闘しましたが、力はまだまだ発揮出来ると思います。同じく来年に期待します。

多くのCMSCの仲間が参加して下さり、事故も無く、無事終了出来ました。これからも地域におけるラリーの「灯」を消すことなく、頑張り続けたいと思います。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



CMSC香川 7月12~13日

'97CMSCダイヤスターラリー

今年は大雨洪水警報の中、コース内の土砂崩れを心配しながらの開催となってしまいました。このような天候の中でしたが、去年より10台少ないものの、45台のエントリー(出走は43台)がありました。

大雨洪水警報発令!

競技開始と共に、天気予報通りの豪雨となり、翌朝まで雨は降り続けました。43台が通った後の林道の轍は、深い所では20cm以上で、普通の車が通れる道では無くなりました。今回は天候があまりにひどかったので、この林道の写真を掲載したいと思います。エントラント、オフィシャルの皆さん、本当にお疲れさまでした。(CMSC香川 白井修)



CMSC島根 8月3日

CMSC島根チャレンジカップジムカーナ

前日(前夜)は荒天に苦しみ、当日は好天の暑さに苦しむというパターンが7年も続いている、CMSC島根の日本海(山陰)シリーズジムカーナ第3戦は、岡山県の備北サーキットに82台のエントラントを集めて開催されました。カートコースで超ハイスピードのロングコースを設定したのですが、クラブ会長自らの執拗なまでのコースチェックの甲斐あって、僅かなトラブルすら絶無でした。エントラン

ハイテンションコースが大好評。

トにも「走り応えがあり過ぎるコース」「気の抜けないハイテンションなコース」と大好評だったようです。

競技の方はAIIIクラスで1~5位までをランサーEV軍団が独占。10位までの内8台がランサー勢だったのは圧巻でした。ただ、AIIクラスではミラージュ勢最上位が5位、10位までにも3台しか入らなかったのは、少し寂しい気がしました。某社タイプRが、某社タイプN1が、この夏発売されるに至り、競争力の低下は否めません。ぜひ対抗車種の追加をと、血の涙をもって(笑)お願いしたいと思います。



(CMSC島根 古藤浩美)

首位福島快調なペース。2位争い激戦。

'97チャレンジカップ

首位の福島は順調にポイントを重ねています。2位争いは、100ポイント程の差の中に4チームが入る激戦で、次

回のポイント次第では大きく入れ替わる可能性があります。部門別でも変動が起きていて目が離せません。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
福島	820	710			1530
広島	612	386			998
青森	577	412			989
群馬	441	466			907
山形	450	445			895
大阪	512.5	220			732.5
香川	319	394			713
帯広	378	306			684
札幌	381	232			613
浜松	307	289			596
道北	421	155			576
岐阜	182	326.5			508.5
栃木	204	255			459
島根	79	195			274
愛知	34	136			170
鹿児島	0	168			168
仙台	64	90			154
埼玉	98	46			144
岩手	30	0			30
秋田	0	8			8
千葉	0	0			0

●ラリードライバー部門

小林 康弘	帯広	176
原口 真	鹿児島	113
菅野 正之	浜松	102
奴田原文雄	札幌	101
松井孝夫	愛知	98
鷹野健太郎	道北	91
鎌田 豊	道北	90
中島 律	広島	90
細村謙一	群馬	86
杉山 聡	道北	72

●ラリーナビゲーター部門

中村 洋次	帯広	109
川村 知恵	道北	106
野村佐江子	広島	90
朝岡 達也	愛知	72
生井重男	帯広	54
細村 祐子	群馬	40
野津康弘	福島	32
本島 正和	浜松	30
横山 浩	札幌	28
本田 辰彦	岐阜	27

●ダートトライアル部門

秋間 忠之	大阪	432
湯本 敬	山形	340
小川 進	福島	324
谷口 浩二	札幌	286
小出久美子	大阪	257
岩根つもる	広島	238
荒井信介	群馬	234
河内 涉	広島	223
赤羽政幸	山形	213
大泉 剛	福島	211

●ジムカーナ部門

宇野 慶一	青森	302
工藤 裕史	青森	240
佐藤 義隆	福島	182
久保田 明	青森	148
丹羽 裕一	道北	140
江上 逸人	栃木	130
三崎 朋弘	帯広	115
高野 聡	福島	92
小館 久	青森	84
下谷 光俊	栃木	57

●レース部門

添田 正	栃木	140
高橋しげる	仙台	128
内堀 篤史	栃木	74
川口 法行	栃木	44
吉沼 昭彦	栃木	12

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス) 但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ レースにはミラージュカップ、N1耐久レースを含む B = それ以外の競技会